

# すぎのこ

171

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2023 7/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264  
狭山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706  
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演だより/園からの声/制作だより/第36回 池袋いけいけ人形劇まつり/いいだ人形劇フェスタについて/春のゲネプロについて  
4面 演育ワークショップ報告/事務局だより/活動記録 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: [support@suginoko.org](mailto:support@suginoko.org)



新作「金のおの銀のおの」の舞台上に集合

## 新型コロナウイルスが私たちに教えてくれたこと

理事長 大場 隆志

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが令和五年五月八日に、結核や重症急性性呼吸器症候群並みに危険度が高い二類相

当から、季節性インフルエンザと同じ五類感染症へと移行しました。コロナ禍の約三年間は、世界中で「劇場のあかり」が消え、演劇史上で未曾有の事態となりました。私たちがこの芸術文化振興会も大きな影響を受けましたが、何とか今まで活動を続けてくることができました。

中国の北のほうにお城がありました。そこに住むおじいさんの馬が、ある日逃げ出してしまいました。

近所の人々は、そのことを聞いて大変喜びましたが、おじいさんは「良いことがあったので、今度はある良いことが起こるかもしれない」と言いました。しばらくすると、おじいさんの息子がその馬から落ちて怪我をいたしました。それを聞いた近所の人々がお見舞いに行くと、おじいさんは「悪いことがあったから、良いことがおこるかもしれない」と言いました。やがてその周辺で戦争が起き、この城も戦争に巻き込まれてしまいました。そして戦争に行つた若者は全員死んでしまいました。

しかし、おじいさんの息子は足を怪我していたので、戦争に行かずに、助かりました。このエピソードから人間万事塞翁が馬ということわざが生まれたと言われています。

この間に多くの紆余曲折がありました。今日まで活動を続けてきたのは、先達の小澤明さん、小澤幸雄さんが劇団のために、誰にも負けない努力と、一生懸命に働いてきた結果であると思います。先達の功績に感謝すると共に、コロナ禍を経て、人生には、良いことも悪いことも予測できないことが多いことから、起きた出来事に一喜一憂せず、動じず、誰にも負けない努力と一生懸命に働き続けることの大切さを、改めて教えて頂いたと思います。

馬が逃げ出したことを知った近所の人々は、おじいさんが可哀そうということで、おじいさんを慰めるためにみんなで集まりました。しかし、おじいさんは「悪いことがあったので、今度は幸運を呼び込むかもしれないよ」と言っていて、あまり気に留めていませんでした。しばらく経つと、なんと逃げた馬が戻ってきました。しかも、馬は一頭ではなく二頭で戻ってきました。

稲盛和夫氏は経営者にとつて一番大事なものは「誰にも負けない努力をする」ことだと言っています。誰にも負けない努力をすること、素晴らしい人生を生きたるために必要條件で、毎日真剣に働くことも条件であると言っていました。このことを除いて経営の成功と、人生の成功はあり得ないと言っていました。一生懸命に働くことを忌み嫌い、少しでも楽をしようと思うならば、企業経営はもろろんのこと、素晴らしい人生を得ることもできないことを強調していました。なぜ一生懸命に働くことを強調するのか。

「世の中で大きな発明発見をした人、新製品や新技術を開発した人たちの生きざまを見ると、そのすべての人が誰にも負けない努力をして創意工夫を重ね、素晴らしいひらめきを得ています。ナマクラな仕事をして、成功した人や素晴らしい発明発見をした人は一人もいません。そういう点でも一生懸命に負けない努力をすることは、仕事にも人生にも大変なプラスをもたらしてくれるのです」

誰にも負けない努力は副次的効果をもたらす、とも言っています。「世の中で大きな発明発見をした人、新製品や新技術を開発した人たちの生きざまを見ると、そのすべての人が誰にも負けない努力をして創意工夫を重ね、素晴らしいひらめきを得ています。ナマクラな仕事をして、成功した人や素晴らしい発明発見をした人は一人もいません。そういう点でも一生懸命に負けない努力をすることは、仕事にも人生にも大変なプラスをもたらしてくれるのです」

を踏まえて、稲盛氏は言っています。「一生懸命に働く。誰にも負けない努力をするのは、この世に生きる者の当然の義務であり、この義務から逃れることはできないと私は思っています」と。

# 巡回公演だより

## おむすび ころりん 班



「おむすび」がころがっていく心のつたわり方がよく描かれている作品だと思います。

今年度はまだ上演が少ないので

ですが、私の好きなシーンがあります。ころがってきたおむすびをネズミの親子が食べるところです。観ている子ども達は声をたてて笑います。まるで自分も食べているような、しかもお友達と「おいしいね」と言い合っているかのようです。

赤ちゃんが生まれそうなお母さんネズミに食べさせてあげると、思いが伝わって、元気な赤ちゃんネズミが生まれてきます。小さな生命に大きな愛が生まれます。

もしかして、初めは芝居を創ることに精一杯にぎっていただけかもしれません。

今年が暑いですが、みなさんは普段「おにぎり」と「おむすび」どちらを言っていますか。私は圧倒的に「おにぎり」で、いやそれしかありません。

稽古中、不覚にもつい言って注意されました。作品のテーマ、心と心をむすぶ「おむすび」でないとそぐわないという事です。「おにぎり」より、心がこもった「お

は今年から2年目になります。

## たのきゅうの うわばみたいじ 班

「たのきゅうのうわばみたいじ」



まず、サブリーダーの「ねこと毛糸玉」は約7分ほどのみじかいお話。猫ちゃんがとても可愛らしく、子どもたちも喜んで観てくれています。セリフがなく音楽のみで進んでいくお話で、猫ちゃんの動きと音楽がとても楽しく癒されます。

そして本編の「たのきゅうのうわばみたいじ」のお話は、すぎのこでは過去にも上演していて、先輩方がたのきゅう役をしてくれました。

今回から私がたのきゅう役でお芝居をやらせていただくことになり、久しぶりの子役という事もあり、楽しくお芝居させていたいただいております。たのきゅうという役

## 園からの声

### おむすびころりん

・のざわこども園(長野県下高井郡) コロナ禍で3年間中止となっていた人形劇を久しぶりに子ども達を観ることができ、生の演劇に触れることができ、大変よい機会となりました。子ども達、職員、皆楽しませていただきました。ありがとうございます。

・認定こども園・釧路頌栄保育園(北海道釧路市) はじめに10分程度の短いお話

があったのは良かったです。セリフではなく、動きや間で楽しむことができ、3歳未満児も喜んで観ていました。うわばみの表情が変わるところなど、最後まで興味を持ち、観劇後「おもしろかった」と友達同士の会話も弾んでいました。ありがとうございます。



坂城幼稚園(長野県埴科郡)からのプレゼント

### 金のおの銀のおの

・山陰保育園(長崎県南島原市) 久しぶりの人形劇に、大喜びの園児、職員でした。2作品の劇で、時間いっぱい楽しんで頂きます

・中標津町立計根別幼稚園(北海道標津郡中標津町) 子どもたちが、くいている様に見ていました。本物(プロ)に触れる機会ありがとうございました。 ・わかば保育園(北海道旭川市) 子ども達、楽しんで見ていました。とっても良かったです。ありがとうございます。

た。0、1、2才児は、途中で集中力が切れるかも?と思っていました。最後まで観ることができました。「お人形の動き」や「声」、音楽が素晴らしく、あつという間の時間でした。ありがとうございます。 ・桜井保育園(福岡県糸島市) 1才児は、「ワンワン」と犬の鳴き声で大喜びし、よく集中していた。時々笑いもあり良かった。「金のおの銀のおの」では、最後にうそつきの人が改心するという内容で道徳的にも良かった。

## 制作だより

彩りに満ちた春の季節から、少しずつ陽射しも強まり、だんだんと夏本番が近づいてまいりました。すぎのこの人形劇巡回公演も無事にスタートし、子ども達へ物語を届ける日々を過ごしています。

近年では、子ども達が触れるコンテンツも次々と増加し、絵本・紙芝居・CD・テレビ・動画の他に

も、多種多様に世の中にあふれています。そんな中でも、肌で感じる音や光、目で見える息遣い、聞こえるこころの鼓動など、身体すべてで感じられる空気は生のお芝居だからこそ得られる特別な体験です。そしてそれは笑顔を咲かせる「こころの種」にもなると私は思っています。

新生活による環境の変化や慌ただしい日々、季節も移り変わり、心も身体もだんだんと疲れや不安が積み重なることもあるかと思えます。それはきっと、大人だけで

(吉田 薫)



柄は友達思いで、何より家族、母親を大事にしている心優しい少年です。そしてうわばみに立ち向かう勇氣もある、まさしく主人公らしい性格をしています。

純粋で真っ直ぐなたのきゆうをしつかりと演じられるように稽古をしてきました。たのきゆうの気持ちを皆さまに伝えることができたら嬉しいです。

自分の理想の演技を目指して頑張って参りますので、より沢山の子ども達、先生方に御覧いただけたいと思います。どうぞ「たのきゆうのうわばみだいじ」をよろしくお願い致します！

(星野 翼)

### 金のおの銀のおの 班

「最後、涙が出ました」その言葉に作品が報われた。

——ずっと苦しかった。元があるお話とはいえ、すぎのこの作品として脚本を考えることは容易ではなかった。制作担当になり、生み出すまで大変さを経験した。どうしたら子ども達が見やすく、メッセージ性のある…且つ、子ども達と一緒に観る先生方にも響く内容を考えられるか。導入作品から本編にスムーズに繋げるためには、どういふ舞台美術にしたらいいのか。考えることは山積みで、気が休まらず頭を抱える日々が続いた。形になっても、現場の声を聞くまでは不安だった。子ども、先生、お客様の反応・感想を受けて、初めて作品が出来上がる。



いよいよ初演。導入作品の「みにくいあひるのこ」では、子どもたちの視線が静かに向けられた。白鳥に成長し、お母さんアヒルへ感謝を伝えるラストのシーンでは「涙が出ました」という感想を生からいだけたことで、いいものを創ることができたんだと思えた。本編の「金のおの銀のおの」に入ると、「ヤアダ、起しろ!」「ヤアだ」というイイヨとヤアダのやり取りに、そして犬やカラスの鳴き声、動きに「ワハハ」と子どもたちの笑いが起こる。こういうところで笑うのか!!と新鮮な反応を感じたり、楽しかったという声も聞けて、ひとまず制作者として肩の荷がおりた。

これでやっとスタート地点に立てた。「これでいいよ。いや…やあだ!」1年間かけて、これから成長を楽しみながらやっていきたい。(長谷川 唯)

## 第36回 池袋いびり人形劇まつり

5月4日、大塚にて行われた池袋いびり人形劇まつりに、今年度は「うさぎとかめ」と言うお話で、参加させていただきました。

まだコロナに対しての規制もあり、以前のような好きな会場での好きな作品を見る形式ではなく、各会場のプログラムのチケットを購入して見ていただく、という形でした。ただそれでもコロナ禍以前のような雰囲気にお客様も、演者も、スタッフもだんだん戻ってきているように感じられる一日でした。来年開催されるときは以前のような好きなように会場を行き来し、好きな舞台を見られる形式に戻ると思います。

我々も変わらずに、楽しい人形劇をお届けできるよう頑張りたい。

## いいだ人形劇フェスタについて

8月3日から6日まで、長野県飯田市にていいだ人形劇フェスタが開催されます。昨年はコロナで中止になり、一昨年は長野県内の劇団のみでの上演でした。

すぎのこととしては4年ぶりの参加となります。以前は公民館や幼稚園・保育園等の会場で上演を行っていましたが、今年度は実行委員会本部がある飯田文化会館の一室で、8月3日に「おむすびころりん」を上演させていただきますことになりました。イベントの中心地での上演という事で、たくさんの方に見ていただけるのではないかと期待しています。参加できると自体が久しぶりなのもあり、今から楽しみで仕方がありません。今回は参加費のみで観劇できる形式ではなく別途チケットが必要になりますが、ご参加される方、そして参加しようか迷っている方は是非とも足を運んでいただけましたら幸いです。

詳しくは「いいだ人形劇フェスタ」ホームページをご覧ください。  
<https://www.aida-puppet.com>

(太田 令)



きたいと思えますので、今年度お越しいただけなかった方も来年は是非とも会場に足を運んでいただきたいと思えます。(太田 令)

## 春のゲネプロについて

4月30日(日)に狭山の稽古場にて、公開ゲネプロを行いました。例年、旅の出発前に、巡回する作品を近所の子ども達やお招きした皆様にお披露目する機会ですが、コロナ禍以降は身内や関係者だけで行っておりまして。今回、久しぶりに子ども達も招いて人形劇を観ていただく事ができ、反応を感じられてとても嬉しく、懐かしかったです。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

「金のおの銀のおの」では、新作ゆえに一瞬、ひやっとする場面もありましたが、とても綺麗で優しい作品に仕上がっていました。「たのきゆうのうわばみだいじ」では、自信を持ってお届けできる安定したクオリティ。「おむすびころりん」では、ノリノリで一緒に手遊びをしてくれる子ども達が見られました。

(菅谷 香純)



# 講習会報告 演育ワークショップ

今年度最初の演育ワークショップが、4月26日、埼玉県飯能市にあるさゆり幼稚園において実施されました。

内容は、生き物の表現。ねらいは、自由な発想で、ごっこ遊び（身体表現）をすること。

子どもたちは、うさぎ・怪獣・ダンゴムシなどのお題を自由な発



想で、それぞれ表現してくれました。久しぶりに、マスクのない子どもたちの笑顔があふれたワークショップになりました。

今年、すぎのこ演育ハンドブック第2版が発行され、新しい内容のワークショップも加わりました。これからも、おうたで演育・おあそび演育・おはなし演育を中心に内容を充実して参ります。興味を持たれた方は、お問い合わせください。

「演育」とは、知識の教育・感性と心を育む教育・健やかな体を育てる教育を統合し、演劇的方法を活用し、見る、聞く、感じる、考える、話す、伝えるという人としての基礎能力を育み、多様な価値観がぶつかり合う時代に、他の人と異なる視点を持つことの大切さと相手を理解することの大切さを育むためのものです。(下村明)

森田 研作  
〈代表理事〉大場 隆志  
〈業務執行理事〉下村 明  
〈理事〉浅野 茜子  
榎本 均  
東野 麻衣子  
〈監事〉古賀 正弘

## 事務局 だより

### 評議員・理事・監事紹介

第4期評議員、第7期理事、第4期監事が就任致しました。

〈評議員〉稲坂 良弘

小澤 龍一

### 婦孺研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会（現公益財団法人J

# 賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
  - 個人 年額 3,000円 以上
  - 団体 年額 10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
  - 個人 年間 3日間以上
  - 団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費（技能提供予定書）を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

KA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ婦孺研修センター」があります。

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には

使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」やバラキ高原婦孺スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただけます。敷地内にはバーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本キャンプ協会の優良キャンプ場として認定されています。

婦孺研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/support@suginoko.org

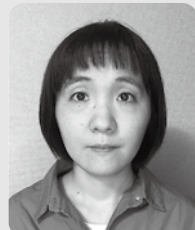
または03-3984-2396

(事務局)



婦孺研修センター

## 新しい仲間紹介



岩井 朱美

4月から入団いたしました。岩井朱美と申します。以前は着ぐるみの人形劇団に所属しておりました。人の手で作られ、人の手で動かす人形劇には、子供達の心に寄り添う力があると思っています。これからすぎのこの人形劇を、たくさん子ども達に届けていきたいです。どうぞよろしく願っています。

### 活動記録(令和5年4月~6月)

- 4/26 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 5/4 池袋いけいけ人形劇まつり参加 於・南大塚地域文化創造館(東京都豊島区)
- 5/8 第一期全国巡回公演開始 於・当公益財団事務所
- 5/15 第24回定例理事会開催 於・当公益財団事務所
- 5/17 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 5/30 第12回定例評議員会開催 於・当公益財団事務所
- 5/30 第11回臨時理事会開催 於・当公益財団事務所
- 6/20 演育ワークショップを実施 於・さゆり幼稚園(埼玉県飯能市)
- 6/30 令和4年度事業報告及び収支決算報告を内閣府に提出